

# 中尾小だより

学校教育目標  
知・徳・体の調和のとれた  
心豊かな児童の育成

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL: 048-873-0216 FAX: 048-810-1120

## 「2学期をむかえるにあたって」

校長 小長谷 雅彦

地域や訪れた先で、いろいろな体験をし、一回り大きくなった子どもたちが元気に笑顔で登校しました。やはり学校は、子どもたちあってのもので、休み中静まり返っていた学校が一気に元気になりました。

本年度の夏季休業日はいかがでしたか。自粛していた帰省・旅行・団体の合宿への参加等、家族や地域の方とのふれあいを深め、充実した夏休みを過ごされたことと思います。

7月22日(土)には、不動谷自治会主催の夏祭りが本校校庭を会場に行われました。17時からの開始を前に本校の金管バンドの演奏があり、浴衣姿の子どもたちもいて、地域の方、保護者、子どもたちのとても良いふれあいの場でした。他の自治会でも夏祭りや盆踊りが復活したようで、夏の風物詩の1つを感じるとともに子どもたちの体験の場が増えてきたことを嬉しく思います。運営の皆様ありがとうございました。今後さらにデジタル化が進む世の中で、子どもたちの自我形成、社会性の育成のためには、体験活動を通じた教育が必要で、特に小学生には、実際に体験してみることが将来の生き方にもつながっていくと考えます。

さて、8月24日にさいたま市・市教育委員会共催の「いじめ防止シンポジウム」が行われました。さいたま市にある公立の小中学校や高校に通う児童・生徒や保護者、教職員、PTA、青少年育成会員などが参加しました。本校からも代表児童・担当教員・校長の3人で出席しました。いじめ防止に向けた代表校による取組の報告やパネルディスカッションが行われました。途中で市の教育委員を務める、音楽家のタケカワユキヒデさんの講演があり、タケカワさんが学生時代に結成したバンドが解散したことや音楽大学の受験で挫折したことなど自身の経験を踏まえて「失敗しても諦めず、続ける力」が重要と伝えていました。その中で、「夢はかなわなくても済んでしまう、だから私は夢ではなくて目標という言葉を使うようにしている。」という一節がありました。

子どもたちが夢を持たないような世の中は、私たち大人が改善していったり、夢について発信したりしていくことが必要です。しかし、夢だけで終わらず実現していくためには、目的を持った、がんばればできそうな目標を立て、行動や実践をしていくことが大切であり、それを行った人が成功を掴んでいるのだなと改めて考えさせられました。2学期当初に子どもたちは、2学期のめあてやがんばりたいことを記すと思います。ぜひ、実現できそうなめあてや目標を立てて、達成したらさらに上を目指すというスモールステップで実践してほしいです。

夏季休業日中の学校では、教職員が作業を行い、中尾小学校の教育環境整備と、指導力向上のための各種研修に取り組みました。職員作業では、備品・教材教具の確認・整理整頓、側溝掃除や校庭のロープ補修、グリーンランドや中尾川の整備などを行い、きれいな環境で2学期をスタートすることができました。子どもたちが明るく元気に2学期を過ごせるように、教職員一同、全力で取り組みます。どうぞ、よろしく願いいたします。猛暑はおさまりつつありますが、まだ暑い日がしばらく続きそうです。熱中症に気を付けながら、焦らず、余裕をもって教育活動を進めていきます。